



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京 (03)5777-2351 代表
©日刊自動車新聞社2020

11月5日
(木曜日)

イーバ、LAPと業務提携

整備システムと中古車在庫情報共有連動

双方のビジネス拡大へ

整備システムの開発と販売を手がけるEBE（イーバ、千原信悟社長、東京都千代田区）は、中古車の在庫情報共有サービスのエル・エー・ピー（LAP、丸山明社長、岡山市南区）と業務提携した。LAP会員にイーバのシステム利用を推奨し、整備業との連動を強化することで顧客満足（CS）の向上を図る。イーバのシステム利用会員はLAPの在庫車両を基軸に小売りなど中古車事業を展開することが可能となる。整備システムと中古車在庫情報共有サービス連動で、双方の会員のビジネスチャンスを拡大し、新規会員獲得に役立てるのが狙いだ。

新規会員獲得に役立て

LAPは中古車小売り大手のシティライト（丸山明社長、岡山市南区）が中心にな

って事業を展開する。小売りの情報の共有に加え、シティライトが開設するエル・エー・ピー（LAA）岡山、LAA四国などの中古車オークション（AA）の競りに外部から参加できる「LAA NE T」の機能も併せ持つ。

従来までLAP会員は他社の整備システムを利用していった場合が多い。今回の提携に伴って今後はイーバのシステム利用を働きかける。イーバ

整備システムでは車検、点検の予約管理や顧客情報の管理を容易にできる。車検ラインの作業状況や会計に応じた連動も可能など、整備業務との相性が良い。

イーバを利用する会員にとってもLAPが持つ中古車を仕入れることが可能になる。LAAの競りにも参加できることで中古車検索や購入手段の多様化など中古車事業を新たな収益源にできる。また、落札台数の拡大でLAAの成約台数や成約率向上が期待できる。

両社では今後、中古車、整備のシステムの連携を強めた今回の提携の利点を幅広い事業者に訴えていく。新サービス開始で3年以内に新たに合わせて2千社の新規会員獲得を目指す方針だ。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2020年11月5日 日刊自動車新聞 5面 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。